

<1> 職務経歴書 (ポーランド、マイクロソフト、独立後)
<2> Domain Name 3.0、編集部より、その他



12-18=☁0% 最高19度
31日17時気象庁発表

大野元久新聞



http://twitter.com/mohno
http://blogs.itmedia.co.jp/mohno
http://d.hatena.ne.jp/mohno
http://b.hatena.ne.jp/mohno

ポーランド

1989年、名古屋工業大学大学院を卒業後、開発ツールベンダーのポーランド(*)に就職。2003年に退社するまで、同社の開発ツールに関する業務に携わる。

*当時はポーランド・ジャパン。現在はエンバカデロ・テクノロジーズの開発ツール部門。2015年10月に独立ベンダーのIDERAによる買収が発表されている。

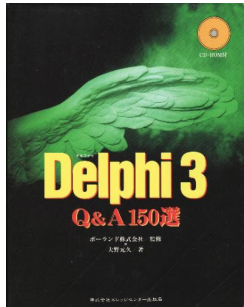
■テクニカル・サポート (1989~1993)
1989年の入社後、ターボCをはじめとするポーランドの開発ツール製品に関するテクニカルサポート部門に所属。チームリーダーとして、顧客満足度の高い対応に努めつつ、業務の効率化を実現した。また、不具合や日本のユーザーからの要望について米国内社との連絡を緊密化した。

■プロダクト・マネージャー (1993~2002)
1993年、ポーランドC++4.0の発売を機にマーケティング部に移籍し、開発ツール製品のプロダクト・マネージャーを担当する。以後、日本独自に企画したターボC++4.0をはじめ、ユニークなビジュアル開発ツールとして登場したデルファイ、C++ビルダー、カイリックスなど、ほぼ四半期ごとに登場する新製品や新バージョンのマーケティングを担当し、広告展開に必要な資料の制作をはじめ、製品紹介セミナーや店頭や雑誌に添付するガイドブックの執筆などを行った。

とくにデルファイとC++ビルダーでは、日本独自のプロモーションが成功し、ポーランド全体における日本での高い売上げを実現した。

この他、ポーランドが主催する技術イベントでの講師も担当した。また、デルファイに関する3冊の書籍も執筆している。

■ローカライズ・サポート (2002~2003)
2002年、マーケティング部門の縮小にともない、製品のローカライズを支援する部門に異動した。2003年に退職。



マイクロソフト

2004年、マイクロソフトに入社。開発ツールを担当するデベロッパ&プラットフォーム・エバンジェリズム統括本部(D&PE)に配属。ビジュアル・スタジオおよび開発者向けのマーケティング活動に従事する。

■プロダクト・マネージャー (2004~2005)
翌年に発売されるビジュアルスタジオ2005について、クライアント技術を担当するプロダクト・マネージャーとして活動(もう一人はWeb技術を担当)。製品自身のマーケティングに加え、Webサービスをネイティブクライアントから利用する「スマートクライアント」を訴求するために、講演を行ったり、記事を執筆した。

■オーティエンズ・マーケティング・マネージャー (2005~2006)
製品に依存するプロダクト・マネージャーとは異なり、開発者を対象にした活動が中心となる。ユーザーどうしが情報を交換する「MSDNフォーラム」を開始したり、旧来のビジュアル・ベーシックユーザーにNETへの移行を促すための「VBマイグレーション」として、ウェブサイトで技術情報の提供、移行ツールや活用資料の拡充、オラクルをはじめとするパートナーとの共同イベントなどを行った。

また、開発技術に関する情報を伝える「MSDNeye」というテレビ番組風の映像配信も行った。

■デベロッパ・エバンジェリスト (2006~2009)
開発製品やユーザーを対象にした企画立案の立場から、実際に技術を紹介する立場に変わり、エバンジェリストとして活動した。ネット上で情報を提供するだけでなく、実際に全国の開発現場で技術を紹介する「マイクロソフト・オフライン」をはじめ、技術イベントでの講演やコミュニティ活動の支援などを行った。

とくにWPFやシルバークラウドなどのクライアント技術を得意分野とし、シルバークラウドについては発表直後から英語情報の翻訳などを積極的に行っていた。

また、「TechEd」という技術イベントでは、開催中、毎日新聞を発行するというユニークな企画を立案・実施していた。2009年に退職。



独立後

マイクロソフト退社後は、フリーランスの技術者として活動している。

■セミナー講師
WPFやASP.NETなどの.NET開発技術、C#やビジュアル・ベーシック、C/C++などの開発言語、およびオブジェクト指向プログラミングなどの開発技術に関するセミナーを行っている。C++黎明期からの経験を活かし、顧客ニーズに合わせて講義内容を調整することもある。

■受託開発・派遣開発
これまで、C#やビジュアル・ベーシック、C++、デルファイによる受託および派遣での開発を行っている。WPFなどの.NET技術を得意分野としているが、状況によっては他の言語での開発を請け負うこともある。

また、プロトタイプ制作や開発方法論の検証プロジェクトに参加したり、プロジェクト初期からの参加だけでなく、開発速度の高さが見込まれて途中から参加するケースもある。

■技術記事の執筆・翻訳
マイクロソフトのウェブサイトで技術を簡潔に説明する「10行シリーズ」(WPF)や具体的なサンプルプログラムを示す「コードレシピ」(シルバークラウド)など.NETに関する技術記事を執筆している。また、英語資料の翻訳も行っている。

■ドメイン名
もともと趣味としていたドメイン名に関する知見に基づいたドメイン名の再登録やプロモーションに関する相談などを受けている。

■コンテンツ制作
これまでの経験を活かし、マイクロソフトの技術イベントでの新聞発行(2010年、2015年)やドメイン取引サイトSedoの紹介映像(非公式)などを制作している。

Build 2015 レポート
msdn
Sedo.com CEO Tim Schumacher
Visual Studio 最新エディション
Surface 3

EACH BETA
[Y]ahoo! [G]oogle [B]ing [1]ivedoor [W]ikipedia [A]mazon [M]SN産経 画面検索 動画検索 地図検索 辞書検索 オークション 音楽検索 知恵袋 商品検索 画像検索 動画検索 地図検索 書籍検索 ニュース Web翻訳 ブログ検索 乗換案内 画像検索 動画検索 地図検索 MSN天気 スポーツ マネー ビデオ エンタメ [2]@nifty [3]FreshEye [4]Infoseek [5]Naver [6]はてな [7]百度 [8]Ask [9]Twitter Goo Goo辞書 行→住所 住所→行 タウンページ Excite Excite英日 Excite日英 OKWave [1]jikipedia [2]英辞郎 [3]Jotobank 映画作品 映画news 映画人物 GyaO [U]YouTube [N]javitime [A]mazon [P]価格コム [R]楽天 楽天トラベル じゃらん ぐるなび クックパッド テレビ王国 自動車 [M]SN産経 毎日新聞 日経NET あたらにす CNet ITmedia AllAbout EnterpriseZin MarkeZine 懸賞 ベクター ベリカン便 タウンページ Mapion tumblr bit.ly (n/a) (n/a) Y!トラベル Y!テレビ Y!チケット ファイナンス Y!クーポン (n/a) (n/a) (n/a) (n/a) TechNet MSDN developerWo CodeZine ZDNet Slashdot GoogleCode SourceForge Ameblo EACHをホームページに設定する ※[]は、ショートカットキーです。IE/Safari/Chromeは[Alt]+[キー]、Firefoxは[Shift]+[Alt]+[キー]で呼び出せます。 ©2010-2014 ホーム 利用規約 FAQ ご連絡

NEW PROJECT
QUALITY WORK
http://newproject.jp/

Domain Name 3.0

2001年のドメイン名バブル崩壊は、ドメイン名業界にとつての転換点となった。「ドメイン名は誇大に宣伝されていた」と多くの人が結論を下したが、技術革新において、あらゆる技術が淘汰されて、新技術に置き換わっているわけではない。

のGodaddyの飛躍は目を見張るものがあった。スーパーボウルのCMで一躍注目を集めた同社は、年10ドル程度という当時としては格安のドメイン登録業者であり、新しい登録者を次々と獲得した。

一方、2014年以降、続々と登場した新gTLD(ジェネリック・トップレベルドメイン)は、早くも先行きの不透明感が否めなくなっている。日本でもtokyoのような地域ドメインなどが登場したが登録数は伸び悩んでいる。

かねて「ドットコム・イズ・キング」と言われてきたが、どれだけ新TLDが登場させても、状況は変えられないのである。そして日本でもドメイン名の重要性は認識されつつある。

※この記事は2006年に執筆した「Domain Name 2.0」の短い続編である。 http://d.hatena.ne.jp/mohno/20060521/domainname

オブジェクト指向が“難しい”わけ

今や「流行りの言語」でオブジェクト指向に対応していないものはほとんどない。だが、新人社員向けのセミナーでは、大学時代にC言語レベルしかやっていたいなかったり、オブジェクト指向プログラミングはわからないという受講生が少なくない。

そうした人は、パソコンにはCPUという頭脳が搭載されており、その頭脳こそが、プログラムを処理すると「正しく」理解している。よく使うものを「手続き」として呼び出すとしても、あくまで処理しているのは「ひとり」だけだ。

中で、オブジェクトという小さなプログラムが動いているようなものかと思えばよいのだが、CPUはそんな風にはできていないのでピンとこないということだ。ここでオブジェクト指向のプログラムを「そんな風にしていないCPU」に理解させるのはコンパイラーの役目である。

ユーザーインターフェイス考察① 画面上で複数の選択肢からひとつのものを選ばせる、という機能がほしいとき、何をすればよいだろう。

これまでも職務経歴書を新聞のように作ると思ったことはあったが、たまたまPTAの広報誌を印刷するときに使っていたネット印刷業者から「小部印刷が半額」というキャンペーンの案内があった。

最近凝っているアニメ話も入れたかったが、名刺として使いくくりなりそうなので見送った。作るかどうかかわからないが次号では再考したい。これは「第1号」だ。



www.comipo.com

の狭い領域で収まるということだ。一方「使いにくい」という欠点も忘れないでほしい。リストを表示させるのに1クリック、選択するのに1クリック必要だからだ。

編集部より

どうかわからないが次号では再考したい。これは「第1号」だ。むしろ最大の問題は、日頃あまり営業活動をしていないので、配るアテがないことだ。

1997年に出版された Delphi 3 (開発ツール) 用書籍のスクリーンショットです。その後の Delphi のバージョンに合わせた改訂などは行われていません。

「Delphi 2 Q&A 120巻」 (大野元久著、株式会社ビレッジセンター出版局) PDFファイル (12.4MB)

「Delphi 3 Q&A 150巻」 (大野元久著、株式会社ビレッジセンター出版局) PDFファイル (28.3MB)

Table with multiple columns containing numerical data, likely a list of items or a table of contents. Includes a 'Sponsored by π' header and various numbers.